

# 工房通信 NO. 13

象嵌ギャラリーあ〜と木の絵工房  
〒413-0235伊東市大室高原4-647 ☎0557-51-5185



## 小室山山頂 森のぞうがん美術館

伊東市川奈小室山1428 tel 0557-44-0542  
AM9:30~PM.4:00(最終入館3:30)  
第2. 第4水曜日定休日 雨天等によりリフト運休時は休館

リフト脇の小道が整備されて、  
小室桜の苗が植まりました。  
歩けば15分、リフトで3分  
海と空とゴルフ場を見ながら  
山頂へどうぞ。



### 美術館は **埋もれ木ぞうがん** がいっぱい

工房通信2年ぶりです。ご無沙汰しました。2008年美術館を開いて途端にバタバタしてしまい、なかなかお便りできませんでした。あらためて「森のぞうがん美術館」のご紹介をいたします。小室山(321m)の頂上に美術館があります。ほわ〜と温かい日差しが差し込むかと思えば、ひゅーひゅーと強風で荒れ狂うときもあり、また人影まばらで思わず海にむかって中島みゆきを歌う日もあれば、黒山の人のだかりでお祭り騒ぎをする日もありで、日々飽きることのない天空の部屋といったところです。ここからの眺望は伊豆で一番と言えます。もしまだ一度も来られていなければ、下記に添付の「ご招待券」を片手にぜひおこしになってください。

雨の日はリフトが止り、美術館もお休みです。

木のぞうがんを作り始めて三十数年たちますが、作風も変わり、素材も変わり、美術館を開いてからは、またいっそう変化してきました。今は伊豆の木を捜し求め、建築資材としては捨てられてしまう端材にぞうがんを施しています。「埋もれ木ぞうがん」と名前をつけました。表皮の付いたままの木や節のある木を使うことで、額絵とはちがうワイルドさが好評を得ています。 ”木に癒される、木に活かされる”その

### 美術館は3年目を迎えました。

開館3年目を記念して埋もれ木象嵌「伊東松川の能舞台」を製作しました。70×110cmの大作です。今東海館の中に飾っていただいています(6月末まで)。伊東駅から歩いて数分のところ。ぜひお立ち寄りください。7月以降も伊東にゆかりの行事や風景の象嵌作品を制作、展示していく予定です。

### 東海館は

伊東の東海館は昭和3年に旅館として創業、平成9年に閉館するまで多くの旅行者に愛されてきました。現在はそのまま保存されて伊東市の歴史を伝える観光名所になりました。喫茶室や日帰りのお風呂もあり、今もまた多くのひとびとに愛され続けています。その東海館の玄関に入ってすぐのところに、この能舞台の象嵌作品が展示してあります。東海館へ

### 伊東祐親まつり

5月末に今年も伊東祐親まつりが行われ、29日には東海館まえの松川に能舞台が特設され、新能が催されます。今年にはあの野村萬齋さん、梅若万三郎さんが来られます。人気のかたがたですが、まだ席は少しあるようです。たのしみなイベントです。

この新能のお問い合わせ、お申し込みは、npo法人文化財史蹟保存会0557-36-7726

### つつじまつり4/29~5/5

今年は気候の変化がはげしく、すでにつつじのつぼみがちらほらしています。例年よりは早く咲くかもしれません。

電車の方は川奈駅からウォーキングコースにそって歩いてみてはいかがでしょう。バスの方は伊東商業高校で降りて同じくウォーキングコースの矢印にそって、すん



### ぞうがんの歴史を知って、体験しよう

5月11日(火)夜6時~8時30分

ヨーロッパ生まれの木のぞうがんマーケットターを皆さんに知っていただき、木の魅力を知っていただき、ご希望のかたには木の葉のフローチの作り方もお教えしようという集まりです。ケーキと飲みものをいただきながら、ゆっくりの茶話会を催したいと思っています。

会費1000円(ケーキ、ドリンク、木の材料込み)

お問い合わせお申し込みは  
☎0557-51-4888 ギャラリーカフェ メリーさん  
会場のギャラリーカフェ「Merryさん」は  
135号線グランパル公園向かいです

美術館は小室山山頂にありますが、そのすぐ脇に小さな池があって初夏を過ぎるころ、モリアオガエルが卵を生みます。白い泡状のものがあちこちに見られ、いつおたまじゃくしになるのかと気をもみます。オスガエルの鳴き声はすさまじく大きく、夕方近くなるとまわりひびきわたるこえで始まります。そんな大自然と美術館をじーと見守ってくれているのは山の上の小室神社。去年うつくしく立て直されました。季節とともに彩り変わる小室山周辺です。リス

### これはなんでしょうか



2010年  
8/31まで  
有効 **ご招待券**  
森のぞうがん美術館